

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104050
法人名	有限会社 山崎介護センター
事業所名	グループホーム とみひさ
所在地	松山市富久町9 5番地5号
自己評価作成日	平成21年7月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

月に1回は全員でお出かけして、季節感を味わっている。（ドライブ、外食、喫茶へ）食事は旬の食材にこだわり、また、懐かしい食べ物の工夫をしている。（嫌いな献立の時にはご本人の好みを聞き好きな物をお出ししている。庭には季節、季節の草花が1年中咲いている。運営推進委員会、カンファレンスに職員は自主的に参加している。職員の入れ替わりがなく利用者さんと馴染みの関係が出来ている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者一人ひとりのお話で職員はじっくり耳を傾け、ご本人の思いや意向を探っておられる。誕生日には、食べたいものを聞き取り、好きなメニューでお祝いされたり、懐かしいレストランで外食する等、希望に応じた一日が過ごせるよう取り組まれている。
 「最期までその人らしく人間としての尊厳を守ります。」という「看取り介護の理念」を作成して、事業所全体で一丸となって看取り時には支援されている。入居契約時、ご本人やご家族に最期の迎え方について希望をお聞きし、状態変化時には、その都度ご家族と相談しながら方向性を決定されている。昨年末、利用者を看取られた際には、ご家族も宿泊され、ともにかかわり、ご本人は、お子さんやお孫さんに囲まれて、最期に「ありがとう」と言葉を残された。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1 ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1 ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 3 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1 ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム とみひさ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

山崎 カツコ

評価完了日

平成21年7月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域の行事には積極的に参加するようにしている。行事を通して地域の方々に理解していただけるよう努力している。管理者と職員は理念を共有して実践につなげている。	
			(外部評価) 管理者は、開設5年目という節目を迎えるにあたり、職員と、事業所の理念について話し合わせ、「ゆっくり・のんびり・心穏やかに」の理念を継続して取り組んでいきたいと考えておられた。又、「地域にも安心してもらえるグループホーム」を目指していきたいと話しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の一員として日常的に近隣とのお付き合いを大切にしている。散歩中に利用者と共に笑顔で挨拶を積極的に行っている。	
			(外部評価) ご近所の方が、お花や野菜、釣った魚等をおすそ分けしてくださったり、又、事業所の菜園で育てたお花や野菜をご近所に届ける等、日常のお付き合いがなされている。地区の盆踊り大会には、踊りの練習時から利用者と参加され、地域行事にも積極的に参加して楽しまれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 近隣の方から相談があれば気軽に応じている。(その為に職員はキャラバンメイト等認知症の研修を受けている。)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進委員会議を2ヶ月に1回実施している。その中で出た意見をサービス向上に活かしている。運営推進委員会で沢山の意見が出るようになっている。</p> <p>(外部評価) 事前にテーマを決めて会議を開催されており、5月の会議では、昨年末、事業所で看取られた利用者のご家族の方から「ホームで看取った家族の立場から」お話しいただき、故人を偲びながら看取りについて意見交換が行われた。</p>	<p>さらに、利用者の暮らしを上げていけるような話し合い等もすすめていかれてほしい。地域の参加者を増やし、地域のさらなる理解や協力をいただけるよう、会議を活かして取り組まれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 判断に困った時や理解出来ない事があれば介護保険課に相談している。運営推進委員会でもいろいろと相談している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議には、市の介護保険課の方にも参加いただき、家族との関係作りについての事例やアドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 職員は身体拘束の研修を受け身体拘束をしないケアを実践している。</p> <p>(外部評価) カンファレンス時には、身体拘束について話し合っておられ、調査訪問時の昼食後、玄関から庭に出てたばこを吸っておられる利用者の姿が見られた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員は虐待についての研修を受けている。虐待が見過ごされることがないように、職員間で注意を払っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度の申請をして後見制度を利用されてる利用者がおられる。運営推進委員会でも議題に出し後見人さんにお話ししていただきました。(職員は自主的に運営推進委員会に出席している。)	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前に時間をかけ十分な説明をしている。(入所前にお試しにお泊り体験等して頂いている。)	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者、家族からの意見があれば運営に反映させるが今まで一度も運営に関する意見は出ていない。意見箱の設置をしている。 (外部評価) 年に一度、クリスマス会の日に家族会を行い、ご家族だけで話し合う機会を作っておられる。ご家族からは感謝の声が多い。利用者ご本人のシーツ交換の際のお手伝いを、ご家族にお願いされたことをきっかけに、ご家族の方がよく来訪して下さるようになり、利用者ご本人も喜んでおられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			管理者は年に1度個人面談を行い職員の思い、意見を聞く機会を設け運営に反映させている。	
			(外部評価)	
			職員が研修で学んだレクリエーションや、ケア技術を日々のケアに採り入れておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			管理者は職員が向上心を持って働けるように努めている。(資格取得の支援をしている。)	
			(外部評価)	
			職員は個々に応じた研修が受けようとしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			管理者は個々に応じた研修が受けようとしている。	
			(外部評価)	
			職員が相互評価に参加したり、他のグループホームと交流を持っている。地域の介護事業者交流会に参加している。情報交換をしたり、ケアについての話し合いをしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			職員が相互評価に参加したり、他のグループホームと交流を持っている。地域の介護事業者交流会に参加している。情報交換をしたり、ケアについての話し合いをしている。	
			(外部評価)	
			職員が相互評価に参加したり、他のグループホームと交流を持っている。地域の介護事業者交流会に参加している。情報交換をしたり、ケアについての話し合いをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入所前に時間をかけ十分な説明を行い安心を確保するように努めている。	
			(外部評価)	
			入所前に時間をかけ十分な説明を行い安心を確保するように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所相談の段階から十分に時間をかけ不安の軽減に努めている。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族、本人の思いを十分時間をかけ傾聴し支援している。必要に応じて他のサービス利用、包括、介護保険課への相談、利用も進めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 毎日の生活を共にし喜怒哀楽を感じることで一体感が生まれ職員は利用者の笑顔に癒されています。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホーム便りを送付して日々の様子をお知らせしています。近くにおられても寄り付かれない方、遠くからわざわざ運営推進委員会に参加して下さる方もおられます。家族関係はなかなか難しいです。(新しく入居された家族さんはとても、協力的で運営推進委員会へも遠くからわざわざ帰られ参加されている。)	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔から行かれていた美容院にお連れしたり、教会のミサに行ったり馴染みの人や場所との関係継続に努めている。 (外部評価) 管理者は、利用者にとっての地域とは「入所前に住んでいたところ」と考えている。以前からかかわりのあるガイドヘルパーの方とともに、外出を楽しまれる方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者は食事、おやつ時に声を掛け合っている。職員は1人1人が孤立しないように努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院退所になった利用者さん、家族さんに対しても、必要に応じて相談、支援に努めている。年賀状や暑中見舞いを出している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の思いを大切に、本人本位に検討している。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりのお話に関心し、じっくり耳を傾け、ご本人の思いや意向を探っておられる。誕生日には、食べたいものを聞き取り、お好きなメニューでお祝いされたり、懐かしいレストランで外食する等、希望に応じた一日が過ごせるよう取り組まれている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を用いて今までの生活歴を把握している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 現状の把握に努めながら本人の残存能力を引き出せるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今年度全員のケアプランを見直した。本人の意向、家族の意向を聞き、カンファレンスで問題点等を話し合い、全員でよりよいケアが出来るように介護計画書を作成した。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画作成前後に、ご家族から計画内容についての意見や意向を聞き取っておられる。支援内容について、ケアチェック表でモニタリングして評価されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>申し送りノートを活用しながら共有、個々のファイルに記録することで情報の共有に努めている。気づきや、工夫を記載しケアプランに反映するようにしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>柔軟な対応をするように努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域資源を把握し豊かな暮らしを楽しめるように支援している。(散歩、鯉の餌やり、神社参拝等々)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 適切な医療が受けられるように支援している。 (愛大、松前病院、貞本病院、味酒心療内科へ受診) 協力医院星島Dr 往診指示で適切な医療を受けている。</p> <p>(外部評価) 受診時は、管理者や職員が同行し、医師に日頃の様子を伝えて、受診の結果をご家族に報告されている。年一回、利用者が健康診断を受けられるよう支援されており、異常の早期発見にも努めておられる。緊急時には、昼夜を問わず、協力医がかけつけてくださるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 管理者に看護師資格あり。介護職員に指導している。適切な受診や看護が受けられるように支援している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 情報交換や相談に努めている。病院関係者との関係作りに努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化してゆく状況を細かく家族に伝え共有している。(12月27日に看取りで亡くなりました。家族から満足した最期だったと言って頂いた。)早い段階からターミナルケアについて話し合った。</p> <p>(外部評価) 「最期までその人らしく人間としての尊厳を守ります。」という「看取り介護の理念」を作成して、事業所全体で一丸となって看取り時には支援されている。入居契約時、ご本人やご家族に最期の迎え方について希望をお聞きし、状態変化時には、その都度ご家族と相談しながら方向性を決定されている。昨年末、利用者を看取られた際には、ご家族も宿泊され、ともにかかわり、ご本人は、お子さんやお孫さんに囲まれて、最期に「ありがとう」と言葉を残された。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時の対応について常に話し合っている。応急手当の研修を定期的に行い実践力を身につけている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域との共同体制を築いている。職員も避難訓練を定期的に行っている。(21年3月に火災報知機、緊急連絡通報装置を設置)	
			(外部評価) 「火の元チェック表」に沿っての点検と「夜間の巡回」を徹底され、防火に努めておられる。又、災害時等、いざという時のために、事業所だけでなく、事業所の別棟にも水やオムツ等を備蓄されている。ご近所の方には、協力依頼に同意いただき、協力体制を整備されている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応を心掛けている。	
			(外部評価) 管理者は、「どんな場面にご本人が喜ばれるか、又、嫌がられるか」を観察して支援につなげておられる。又、利用者同士のトラブルが回避できるよう、職員は配慮しながら声かけをされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中で思いや希望を表したり自己決定出来るように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人のペースを大切に希望に沿うように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人らしいおしゃれが出来るように支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好みや、食べやすい形態を工夫している。 職員と一緒に楽しみながら準備や食事、後片付けをしている。食事中には静かな音楽をかけている。	
			(外部評価) 調査訪問時、昼食には、事業所の庭で採れたゴーヤ等、季節の野菜が食卓に上っていた。利用者は、箸立てからご自分のお箸を選んだり、食後は、ご自分の食器を重ねて流し台に運ばれている様子も見られた。目の不自由な方へは、食事の内容等を伝えて、より食事が楽しめるよう支援されていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考えている。水分補給に努め楽しんで水分補給が出来るように支援している。(お茶を嫌がられる方には)	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 職員は口腔ケアの意義を理解して支援している。(管理者、職員は口腔ケアの研修を受けている。)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々に応じたトイレ介助を行い排泄の失敗がないように支援している。 (外部評価) 職員は、一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄サインを見逃さないようにして声かけし、トイレに誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 個々に応じた便秘の予防に努めている。(食物繊維の多い食品を取り入れたり、牛乳、バナナ等を食べている。) 便秘が及ぼす影響を理解して支援している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 個々に応じた入浴の支援をしている。 (外部評価) 入居時、入浴を嫌がられていた利用者を管理者が近くの温泉にお誘いし、その後は、事業所のお風呂に管理者と入られるようになり、現在では、職員の見守りで入浴を楽しまれているという事例もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その時々合わせた安眠や休息の支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 文献にて目的や副作用を理解している。 症状の変化に応じた服薬の支援をしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々に応じた支援をしている。 一人一人の出来ることや、楽しみを把握し支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の希望に沿うように支援している。 家族と協力し旅行等に行けるようにしている。 (温泉旅行、同窓会、美容院、レストラン等)	
			(外部評価) 夕方、希望者を募り、散歩に出かけられたり、近くのポストに手紙を出しに行かれる方もいる。月1回は、利用者全員で外出を楽しまれており、ドライブや季節のお花を見に行ったり、花の森ホテルでランチ等を楽しむこともある。近く、同窓会に行く予定のある方は、ご家族と相談しながら体調管理等に気を付けておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持たれる方や買い物支援をしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 一緒に年賀状や、暑中見舞いを書いたり、ポストまで手紙を出しに行っている。電話がかかれば子機で話してもらったり、希望があればかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居心地のよい空間作りに努め楽しく過ごせるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の窓からは、庭の季節の野菜や花が眺められ、食卓テーブルにも季節の草花が飾られていた。壁には「とみひさ写真館」と書かれた掲示板があり、外出時の写真や食事の内容の写真が飾られていた。温・湿度計が各階に設置されており、室内の管理をされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者同士が思い思いに過ごせるように支援している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。居室には家族さんが面会に来られた時に写真を撮り飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ひ孫さんの描いた絵や、ご家族と一緒に撮った写真を飾られている方もある。利用者の希望により畳を敷いている居室では、布団の下にすのこを敷いて除湿の工夫をされていた。目の不自由な方は、居室でお好きな映画を耳で楽しんでいた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>安全に生活が送れるように工夫している。 (階段はリハビリのために利用している。)</p>	